

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月9日

大分県知事 佐 藤 樹 一 郎 殿



提出者  
住 所 大分県玖珠郡九重町大字右田3364番地  
氏 名 八鹿酒造 株式会社  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0973-76-2888

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事 業 場 の 名 称	八鹿酒造 株式会社
事 業 場 の 所 在 地	大分県玖珠郡九重町大字右田3364番地
計 画 期 間	平成28年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事 業 の 種 類	酒類製造業
②事 業 の 規 模	売上1,544百万円
③従 業 員 数	76人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

## (第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項											
			(管理体制図)								
			別紙のとおり								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項											
① 現状			【前年度（令和4年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	木屑	金属屑	がれき類	ガラス屑	紙くず	PCB汚染物
	排出量	1510.2 t	17.53t	12.1 t	1.55t	3.39t	2.29t	0.1 t	2.12t	0.29t	0.235t
	（これまでに実施した取組） 廃酸については焼酎製造時の酒化率を上げ、原料を低減し生産ができるよう研究を進めている。社内ではゴミの分別を強化し、低減に繋がった。 廃プラスチック・鉄屑・がれき類・木くずは設備の老朽化と場内清掃活動に伴い廃棄した。 ガラス類・紙パックは商品改版の影響もあり、使用不可となった為廃棄した。 製造により継続的に発生するものではない。 PCB汚染物に関して建屋改修工事に伴い、使用していない変圧器1台の処分を行った。										
② 計画			【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	木屑	金属屑	がれき類	ガラス類	紙くず	PCB汚染物
	排出量	1510.2 t	10t	12.1 t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	（今後実施する予定の取組） 上記内容を継続して行う。 また、製造数量が増加しても、現在排出している量と原料比が大きくなるように抑制する。										
産業廃棄物の分別に関する事項											
① 現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 産廃の分類ごとに容器等で分別できている。										
② 計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状でうまく行えているため、今後も継続し、分別の徹底を行う。										

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現 状		【前年度（令和4年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	—					—				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t					0 t				
		(これまでに実施した取組)									
② 計 画		【目標】									
	産業廃棄物の種類	—					—				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t					0 t				
		(今後実施する予定の取組)									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項											
① 現 状		【前年度（令和4年度）実績】									
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性残渣	汚泥	廃プラスチック	木屑	金属屑	がれき類	ガラス類	紙くず	PCB汚染物
	全 処 理 委 託 量	1510.2t	17.53t	12.1t	0.5t	3.39t	2.29t	0.1t	2.12t	0.29t	0.235t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	1510.2t	17.53t	12.1t	0.5t	3.39t	2.29t	0.1t	2.12t	0.29t	0.235t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		(これまでに実施した取組) 最終処分での埋立をできる限り回避し、廃棄物の資源化及び肥飼料など再生利用できる業者と取引を行っている。 汚泥は活性炭・フィルター濾紙が主で、産廃業者へ委託し、圧縮処分となっている。 廃プラスチック・木屑・金属屑・がれき類・ガラス類は選別し一部再生処理を行い大半は埋立処分を行っている。紙くずは、再生処理が困難であり、産廃業者へ委託し、埋立処分となった。 PCB汚染物に関しては焼却処分を行った。									

② 計画	【目標】										
	産業廃棄物の種類	廃酸	植物性 残渣	汚泥	廃プラ スチッ ク	木屑	金属屑	がれき 類	ガラス 類	紙くず	PCB 汚染物
	全 処 理 委 託 量	1510.2t	17.53t	12.1t	0.5t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1510.2t	10t	12.1t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
		(今後実施する予定の取組) 現状の再生利用率を維持する。									
※事務処理欄											

管理体制（産業廃棄物に関する管理組織等）

責任者		職・氏名：製造部 加藤正雄
担当者		食品安全チーム：10名 産業廃棄物担当者：1名
役割	食品安全チーム	<p>○廃棄物処理に関する検討</p> <p>廃棄物の発生抑制、再生利用、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する</p> <p>事務局：食品安全チーム</p> <p>委員長：食品安全委員長</p> <p>委員：食品安全メンバー</p>
	廃棄物責任者 (食品安全委員長)	<p>○廃棄物処理方針の策定</p> <p>○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃</p> <p>○廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認</p> <p>○監督官庁への各種報告</p>
	廃棄物処理担当者	<p>○廃棄物処理計画の作成</p> <p>○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討</p> <p>○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理</p> <p>○委託契約の締結</p> <p>○産業廃棄物管理票の交付・管理</p> <p>○社員、関連会社に対する教育・啓発</p> <p>○その他関係する事項</p>
<p>廃棄物管理組織</p> <pre> graph TD     A[食品安全 委員長] --&gt; B[食品安全チーム]     A --&gt; C[製造部]     C --&gt; D[生産部]     C --&gt; E[商品管理部]     D --&gt; F[精製特産課 (廃棄物担当者)]         </pre>		

図1 清酒製造フローシート

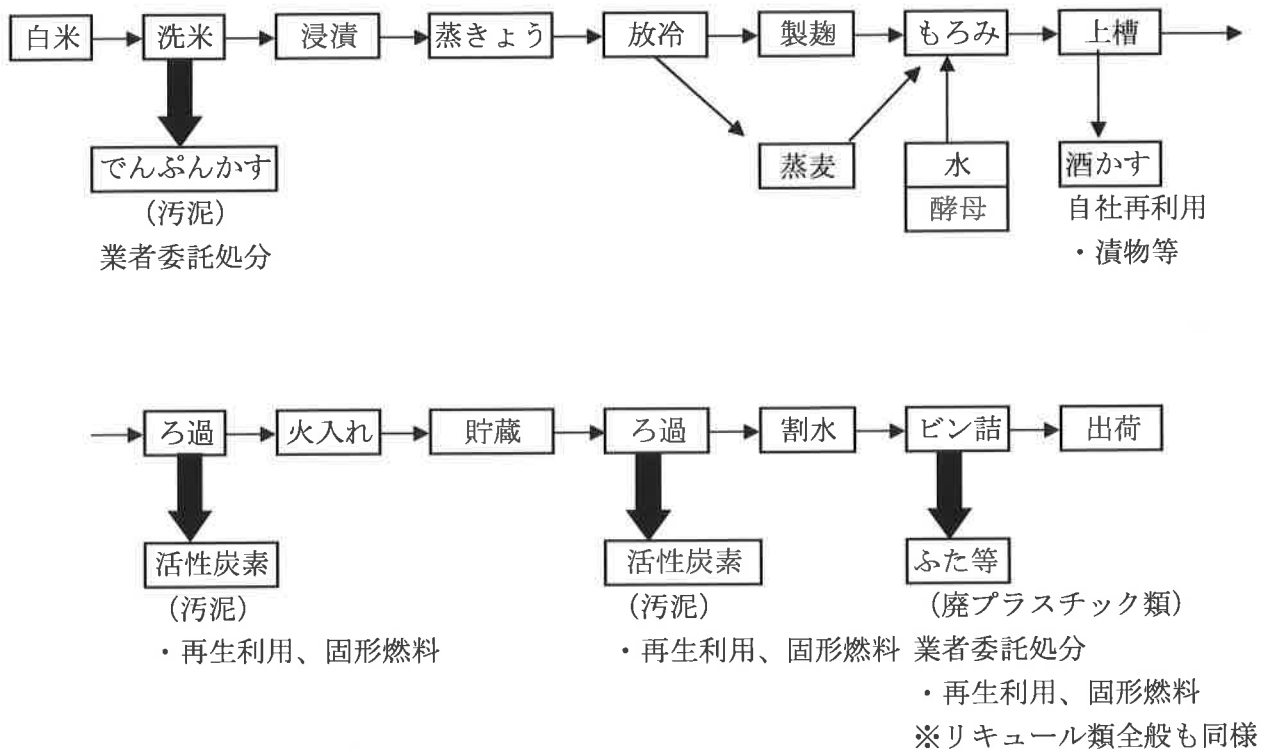


図2 焼酎製造フローシート

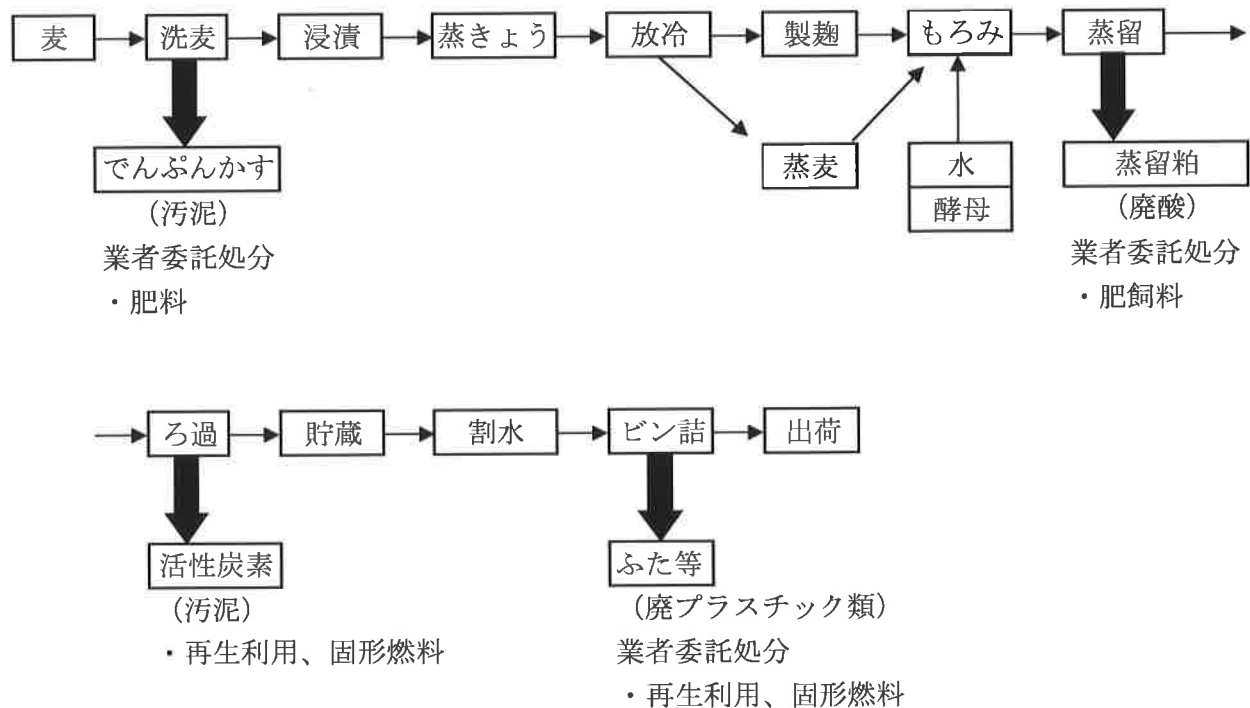
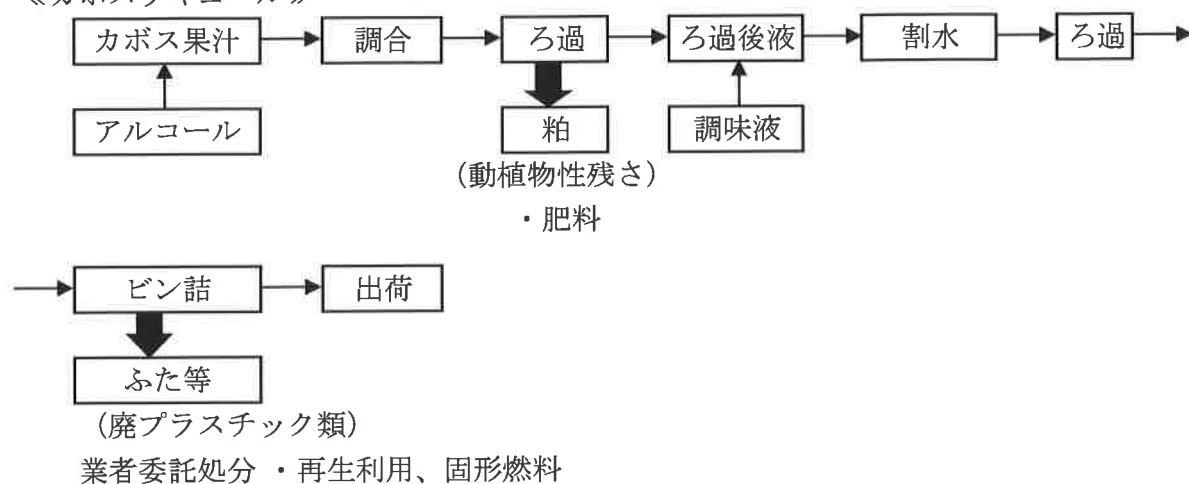
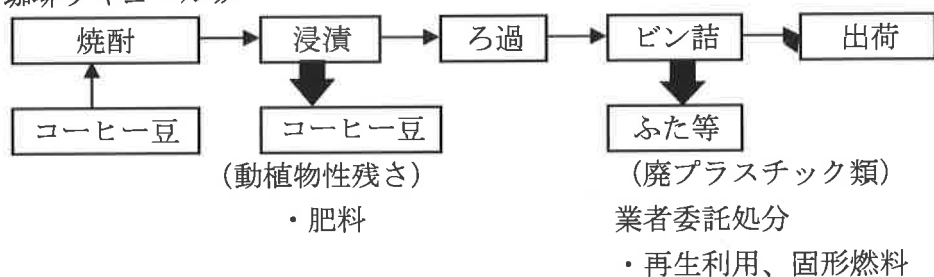


図3 リキュール製造フローシート  
《カボスリキュール》



《珈琲リキュール》



《ゆずリキュール》

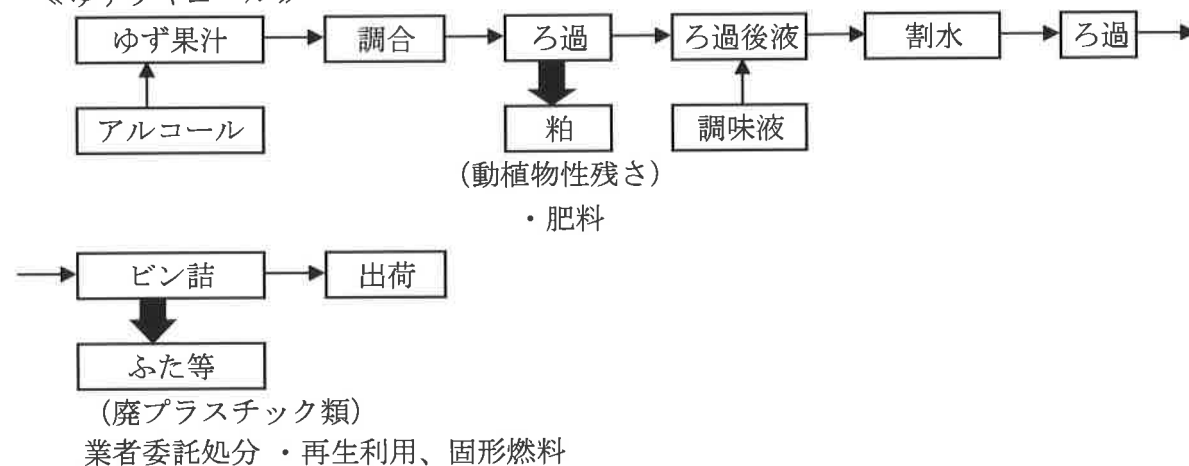




図4 漬物製造フローシート

